

# 年間業績発表 棚卸資料

部門 入所 / 通所 / 訪問  
PT / OT / ST  
コアカリ(脳卒中)

当施設リハビリテーション部では、質の評価をドナベディアンモデルを使用して毎年棚卸を行っています。棚卸の目的は、在庫や品質を把握することで、課題に対して今後活かすために実施します。ドナベディアンモデルは、医療の質を評価する際によく用いられます。これは、「構造 structure」、「過程 process」、「結果 outcome」の3つの側面で評価します。評価結果を下記にまとめてみてください。

## 《年間目標》

ボツリヌス療法を知る  
評価・治療方法を知る  
実際の症例を経験する

## ●構造 structure

- ①ボツリヌス療法の知識を有するセラピストを増やす
- ②矢木病院、友愛会病院との連携強化
- ③利用者選定

## ●過程 process

- ①研修会に参加しボツリヌス療法の概要、評価方法等情報収集する
- ②家族・ケアマネ・友愛会病院相談員・医師との連携強化
- ③評価シートを作成し実際に通所利用者⇒リハ合宿者に実施し連携図った

## ●結果 outcome

- ①ボツリヌス療法について勉強会を開催しスタッフに周知する  
勉強会には9回参加した  
通所⇄訪問⇄入所と横断的な連携を図った
- ②フロー図の作成にて見える化を図った、医師への連絡用紙のひな型作成
- ③評価シート作成し1名運用した

## 《次年度持ち越し課題》

ボツリヌス療法後の治療について CI療法について知る  
評価用紙のブラッシュアップ